

塚口

平成22年度

「塚口 14」

学校教育目標
 集団の中で自らを律し
 目標の実現に向け努力し
 自らを高め続けようとする姿勢の育成



受身 - 負ける練習 -

柔道の基本は受身
 受身とは投げ飛ばされる練習
 人の前で叩きつけられる練習
 人の前でころぶ練習 人の前で負ける練習です。

つまり、人の前で失敗したり 恥をさらす練習です。自分のかっこの悪さを 多くの人の前で ぶざまにさらけ出す練習 それが受身です。

柔道の基本では
 かっこ良く勝つことを教えない
 素直にころぶことを教える いさぎよく負けることを教える

長い人生には かっこ良く勝つことよりも ぶざまに負けたり だらしなく恥をさらすことのほうが はるかに多いからです。

だから柔道では 初めに負け方を教える しかも、本腰を入れて 負けることを教える

その代わりに
 ころんでもすぐに起き上がる 負けてもすぐに立ち直る それが受身の極意 極意が身につけば達人だ

若者よ 失敗を気にするな 負けるときにはさらりと負けるがいい

口惜しいときには「こんちくしょう」と、正直に叫ぶがいい
 弁解なんか一切するな 泣きたいときには 思い切って泣くがいい やせ我慢などすることはない

その代わりに
 スカッと泣いてケロリと止めるんだ 早くから勝つことを覚えるな 負けることをうんと学べ 恥をさらすことにもうまくなれ

・・・ <略> ・・・

若者よ
 頭と体がやわらかいうちに 受身をうんと習っておけ
 受身さえ身につけておけば 何回失敗しても すぐに 立ち直ることができるから

そして 負け方や受身の ほんとうに身についた人間が 世の中の悲しみや苦しみ耐えて ひとの胸の痛みを心の底から理解できる やさしく暖かい人間になれる

・・・ <略> ・・・

相田みつを氏の作品を紹介しました。
 『みなさんどうですか・・・！？』

2月3日 - 節分 - 節分に豆で邪鬼をはらう行事が初めて行われたのは室町時代 豆で体をなで厄をうつしたり、年の数だけ豆を食べるようになったのは江戸時代 最近では、恵方巻(えほうまき)といって、節分に食べる太巻きがブームになっています その年の恵方(吉となる方向)に向かって、目を閉じて願い事を思い浮かべながら、無言で太巻きをまるかじり 2011年は『南南東』 恵方巻の起源は、豊臣秀吉の家臣・堀尾吉晴が節分の前日に巻きずしのようなものを食べて出陣し、大勝利を収めたという故事を元にしていっているといわれています。

土曜参観・百人一首大会 - 1月29日(土) -

1月29日、土曜参観を実施しました。寒い日が続き出にくい中、たくさんの方に来校いただきました。特に、1年生の保護者の方がたくさん来られていたように思います。一所懸命に授業や行事に取り組んでいるみなさんの姿をしっかりと見ていただいたことと思います。ご来校、ありがとうございました。

この日、1年生・2年生は百人一首大会を行いました。体育館は、結構、冷えていたと思いますが、それに負けないエネルギーを出して「札」をにらんでいました。和太鼓の響きもいいもんですね！ 事前の準備等に当たってくれたみなさん、ありがとうございました。



うがい、手洗いを！
 インフルエンザが流行っています。栄養・睡眠をしっかりとって、体調管理に努めるとともに、“うがい、手洗い”もこまめに行いましょう！
インフルエンザに負けるな！

主な行事等	
2月2日(水) PTA研修・PTA常任委員会	2月17日(木) 新入生保護者説明会
2月10日(水) 1・2年実力考査	2月25日(金) 3年学年末考査
2月10・11日 3年私学入試	3月11日(金) 卒業式
2月14日(水) 公立推薦・特色入試	3月14日(月) 公立一般入試